

令和2年度 政策討論会 第二分科会(第5回) 要点記録

- ・日時 令和2年11月17日
- ・場所 第1委員会室
- ・会議時間 10:00～11:10
- ・出席者

雪本 清浩(座長)

友永 修(副座長)

田中 市子

堂本 啓祐

反甫 旭

河合 馨

米田 貴志

岡林 憲二

(座長、副座長以下は議席番号順)

・議事内容

1. 生涯学習部スポーツ振興課を招聘し、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西について説明を受け、その後、議員間による意見交換を行った。
2. ワールドマスターズゲームズ 2021 の開催期間や競技・種目、岸和田市実行委員会の設立などこれまでの経過などを確認(コロナウィルス感染症の影響により開催の延期が決まっており開催日などは未定)。企画調整・魅力創造部会、スポーツ推進・競技部会の専門部会を設置し、競技環境の充実と観光に繋げるプランを仕掛けるなど BMX 競技としてのレガシーとなるよう盛り上げていきたいとの事であった。各議員からは、競輪場及び BMX 競技を活用した観光促進には、ワールドマスターズゲームズの成功は大事であるとの観点から、大会を盛り上げるためには泉州地域内の首長間の連携が必要である。また、テレビ岸和田などメディアによる広報戦略の充実(PR 映像のさらなる活用で機運を高める)、そして、BMX 競技を観覧できるよう施設整備も必要ではないかなどの意見があった。議会としても支援が出来るよう、討論を深めていきたい。
3. 次回の討論会日程は、12月22日(火)10時～とし、観光課・KIX 泉州ツーリズムビューロ様を討論会に招聘し説明を受ける予定。

<各議員の発言要旨>

※順不同

●『競輪場を活用した、観光促進』のテーマに沿った討論をしていく上で本日、スポーツ振興課から「ワールドマスターズゲームズ 2021」の説明をお伺いしました。マスターズでは本市として、協議開催と着地型観光の2本立てで実行委員会が進められているとのことでした。構成団体も12団体と充実した構成であり、我々議員も参画し、盛り上げる必要があります。いずれにしても、岸和田 TV 等の媒体を上手く活用し、PR が寛容であると思います。今後も競輪場・BMX・マスターズ等を検証しながらも我々のテーマに沿った討論を進めて、提言への議論が必要である。

●ワールドマスターズゲームズ 2021 関西について、市として今以上に広報することは必要である。そのために私たち議員もBMXを体験するなど、積極的に広報活動に協力するべきだと思う。

●BMXは競技としての歴史も浅く、30歳以上の競技人口は少ないだろうと思われる。また、誰でも簡単に参加できるスポーツというわけでもない。イベント的なことをやるにしても、多くの人に参加するという形での開催は難しいと思われる。岸和田のBMX場に観客が入りにくい点や、外から見えにくい点もネックである。ワールドマスターズそのもので、というよりこれをきっかけに、認知度を上げるなど、現在ネックとなっている部分に対する工夫をしていくことが必要と考える。

●スポーツ振興課から WMG2021Kansai について説明とPVを視聴し、何点か質問した。

①WMG2021Kansai の実行委員会を運営するうえでの予算的なことについて。資金面の現状は少ないようであるが、PRの手法や取り組みなどが明確になっていないと予算要求は厳しい。各部会で協議を重ね、今後の取り組みについて固めていくことが必要と考えるがその見解は。

②広域連携について、WMG2021Kansai における泉州地域の各首長の意識がどのような状況なのか。この大会をきっかけに、泉州の地に、たくさんの方々を呼び込めればと考えている。WMG2021Kansai は、世界的生涯スポーツの祭典であり、この泉州で3市が開催地となっている。当然、参加者の殆どが関空をウエルカムゲートとして来阪されることは想定され、どこの開催地よりも一番早く、そして多くのゲストを迎えることになる。そう考えると、まずは泉州全体で盛り上げることが肝要と考えるだけに広域連携は非常に重要となるのではないかと。

③WMG2021Kansai 開催後のレガシーについて、岸和田市の考えはどうか。運営協議

会を構成する各部会で共通認識できているのか、これを機に「自転車競技」を岸和田に根付かせていくというような考えはあるのか。本市では BMX を先頭に、自転車競技についてハードやソフト面についてレガシーを残すべきと考えるがどうか。

スポ振の説明を受けて、皆様もお気づきのことと思うが、WMG2021Kansai には参加される選手だけではなく、ファミリーで世界から来阪される。また、競技期間だけではなく、長ければ 1 か月、短ければ 1 週間というスパンで日本に来られる。それらの方々が競技と合わせて別に日本観光も目的になっている。それが WMG の魅力である。泉州の観光についての情報発信拠点が堺市のホテルに設置されるとのことである。そこで大事なのが、泉州の市町が一体となって取り組まなければならないのではないのか。そう考えると広域連携には各首長の意識がキーになるのではないのか。競技に参加される方々を、ここ泉州に引っ張るとの連携した強い意識が大切と考える

●(スポ振への質疑)①wmgに備えて、施設整備をする必要はあるのか?②岸和田市への来訪者(選手や関係者)に対して、観光商品の造成はしているのか?

府内で BMX 会場を有している自治体は限られており、本市への誘客に活用したい。そのためにも、観客席を設けるなど、施設を一層充実させるべき。BMX 競技をより周知させる方策の一つとして、協議アンバサダーの阪本氏に、市内の学校を訪問してもらうのも良いと思う。

●素晴らしい PR 動画を見せて頂き感激した、このような PR 動画を、もっと活用すべきと思う。つい先日、スポーツ新聞にジャニーズ Jr のメンバーがサイクルピアに来て BMX に挑戦したという記事が載っていたが、今後は、新聞などの影響力も活用しながら、競輪場の PR をさらに進めていく方法を考える必要があると思う。

●スポーツ振興課の説明では、ワールドマスターズゲームズは観るスポーツよりも参加するスポーツであるとのこと。しかし、岸和田市で開催されることを知っている市民は、まだまだ少ないようである。また、二つの PR 映像(全 4 作)を観たが非常に良く出来ていると思う。この PR 映像をもっともっと広めていくべきであり、そうする事により BMX に興味を持たれる方が増えるのではないのか。それだけではなく、興味を持たれた方が実際に競技者へとなれるように、ドゥールースや競輪場との連携を強化し窓口を拡げるべきである。イベントや仕掛けを増やし、交流人口の増加に繋げなければならないと考える。

●ワールドマスターズゲームズ 2021 での BMX の成功が、競輪場を活用した観光促

進の起爆剤になればと期待するが、開催地の市民の機運が醸成されていないと感じる。今後、のぼり旗を立てるなど PR に努め、開催機運を盛り上げる方策を講じる必要が有る。スポーツ振興課には、競輪のトラックと BMX コースを利用して年齢を問わずスポーツに勤しむ場を創って貰いたい。競輪場を市民の財産という認識を持ち施設の有効活用をお願いしたい。